

令和7年度第3回 名張市地域公共交通会議 議事概要 次 第

日時：令和7年11月19日（水）

午後1時30分～14時45分

場所：名張市防災センター 2階防災研修室

出席者：（敬称略）

（1）委員

前川 尚三 （市民公募）

澤田 恭子 （市民公募）

古谷 久人 （地域づくり代表者会議会長）

岡田 美佐子 （名張市老人クラブ連合会女性部副会長）

中平 恭之 （近畿大学工業高等専門学校総合システム工学科教授）

川北 幸宏 （三重交通株式会社伊賀営業所所長）

前田 敦志 （一般社団法人三重県タクシー協会伊賀支部 支部長）

尾上 義文 （三重交通労働組合伊賀支部支部長）

沢西 芳円 （伊賀建設事務所副所長）

稲垣 博 （【代理出席】名張警察署交通課係長）

森 慶之 （国土交通省中部運輸局三重運輸支局首席運輸企画専門官）

前田 志穂美 （【代理出席】三重県地域連携・交通部交通政策課主事）

伊集院 時仁 （名張市都市整備部部長）

出江 良隆 （名張市副市長）

（2）オブザーバー

小倉 宏基 （三重交通株式会社伊賀営業所総務係長兼営業係長）

松田 蒼生 （国土交通省中部運輸局三重運輸支局企画調整担当）

（3）事務局

都市整備部 都市計画室 4名

会議の公開・非公開：公開

傍聴人：1名

1 開会

2 会長あいさつ

皆様、本日はお忙しいところ第3回名張市地域公共交通会議にお集まりいただき誠にありがとうございます。

名張市副市長の出江でございます。

皆さま方におかれましては、日頃から、市政全般に格別のご理解、ご協力を賜り、厚くお礼を申し上げます。

また、本市の公共交通政策にご理解とご協力を賜わり、それぞれのお立場でご尽力をいただいておりますことにつきましても、重ねてお礼申し上げます。

10月からでございますが、薦原地域コモコモ号についての再編、一部地域のデマンド運行につきましては、薦原地域の皆さま方と運行運営委員会役員の皆さまのご尽力のおかげで、無事に実施実験をスタートしていただくことができました。来年度から本格運行に向けて引き続きよろしく願いいたします。

また、本年度は公共交通に関します人材育成の取組も行っておりますが、「地域で支えるコミュニティ人材育成事業」と題しまして10月3日にはセミナーを、10月24日には勉強会を開催させていただきました。

日頃からこの会議でもお世話になっております中平、樋口両先生に講師となっただき、地域交通の現状、移動手段の可能性等について理解を深めることができたと感じております。

当日ご参加いただきました皆さまと、貴重なお話をして下さいました両先生に、この場をお借りしまして改めてお礼を申し上げます。

さて、本年度3回目となります本日の会議でございますが、第1回、第2回の会議におきまして議題とさせていただいておりました市街地循環型コミュニティバス「ナッキー号」の運賃の見直しにつきまして、運賃改定に向けた準備が整いましたので、改定内容のご報告と今後のスケジュールについて、また、国津地域のコミュニティバスあららぎ号の運行見直しにつきまして実施案が固まってまいりましたので、これら2案件を議題とし、ご議論賜りたいと存じます。

最後になりますが、前回会議にも申し上げましたとおり、地域の住民自治が成熟している本市であるからこそ、本年度実施しています人材育成事業を通じて、地域ごとの課題抽出や移動ニーズに対する担い手の確保方法などを見出すことができるということが強みであるのではないかと考えております。

人口減少の進む中における持続可能な、名張市独自の移動確保を目指しまして、本会議は開催させていただいておりますので、委員の皆さま方がお持ちいただいている知見を元に、本日も忌憚のないご意見を賜りますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

甚だ簡単ではございますが、会議開催にあたりましての私からのご挨拶とさせていただきます。

3 議事

(事務局より資料に基づいて説明)

【協議案件】

(1) 市街地循環型コミュニティバスナッキー号の運賃見直しについて

【資料1】

座長：運賃１００円から２００円、乗り継ぎ割引導入といった大きな変更点について何か意見はないか。

【委員から特に意見なし】

座長：ご意見がないということで承認でよい（了）

（２）国津コミュニティバスあららぎ号の運行見直しについて

【資料２－１～２－３】

委員：資料２－３の新しい時刻表について、お買い物線のスーパーヤオヒコに１０時５０分着
１１時３０分発で実際に利用されている方にこの時間に間に合うかの検証はしているか。

→このダイヤについては、運転手も一緒に入って考えている。

スーパーヤオヒコでの買い物時間についても、利用者へ聞取りを行い４０分程必要と聞いておりこのダイヤとしている

委員：４０分程ということで、この時間で買い物間に合いそうか。スーパーの大きさ等把握はしていないが。

→スーパー自体あまり大きいものではありません。高齢の方でも、充分余裕をもってご利用できるかと思います。

委員：資料２－３の右下、あららぎ号と三重交通バス乗継ぎ時刻の記載について
あららぎ号の１便の到着時間について８：００着となっているが確認したい。

→資料２－３のあららぎ号つつじが丘バス回転場到着・発車時間１便８：００着を７：５７着、
６便１４：００着を１３：５５着、８便１６：３５発を１６：３０発、９便１７：１５着を
１７：２５着に修正をさせていただきます。

委員：遅延などが発生した場合の伝達等、三重交通との連携についてはどうなっているか。

→ご利用者の利用状況についてはドライバーに把握してもらっている。

予約時に、この便で帰りますといった確認を取っているので遅延などが発生した場合はあららぎ号に載せて帰ってくるといった連携を取っている。

座長：時刻表について複雑な形になっている。恐らく他地域や観光客の利用はほぼないと思うが、地域の方やたまに利用したい方がこれを見て理解できるのかというのがあるので丁寧な説明が必要。

個人的には、定時定路線でなくてもよいと思っている。地域の方にとっては、路線は減るが定時定路線の方が利用しやすいのかと思う。

利用者がかなり少ないのでそのあたりはどこのまで少なくなった時にどうしていくのか早めに議論していく必要がある。

座長：一部、あららぎ号発着時刻の訂正があったが承認でよいか（了）

【報告案件】

（事務局より資料に基づいて説明）

（１）地域で支えるコミュニティ交通人材育成事業について

【報告資料１－１～１－３】

座長：報告資料１－１の⑤協議会の実施日について、２月１７日ではなく
２月１６日ではないか。

→２月１６日に訂正いたします。

座長：樋口先生に講演いただいた、「交通と福祉の連携」について各地域で考えられている
が中々上手くいっていない。

色々な課題がある中で、地域の特色を活かしながら福祉の連携をと言われている。
名張は、福祉が強化され充実していると言われ交通がどういったことで関与していくか
といったところを今後しっかり考えていかなければならない。

一方で、人口減少が各地域で進んでいる。

名張地域の人口減少に対する対策は、商工会が中心に検討している。

前総理の時には、地方創生２．０において人口減少は各地域で考えて下さいということが
書かれていた。

そういった中で、福祉にかかる予算が高齢化が進むと増加していくことは確かです。

そういったところの関連も今後、福祉だけで考えるのではなく、交通とか他分野での連携
が特に大事になっていくと思っている。

４ その他

（事務局より資料に基づいて説明）

事務局：コモコモ号、コモコモらいどについての実績報告

コモコモ号については、再編前とはあまり利用人数変わっていない。

今後、本格運行に向けて検証していく。

コモコモらいどについては、１６名が利用登録、実際の利用は、７名程有り。

オークワ、桔梗が丘駅、病院への利用が中心になっている。

トラブル等や利用者からの要望などの報告はなし、想定通り安定した運行をしている。

今後、適宜改善や広報等での利用促進をしていく必要がある。

委員：コモコモライドについては、今後利用促進としてポイント制の導入、10回利用したら1回無料といったサービスを加えることを考えている。

コモコモ号については、新しい停留所にも利用が有り、10月時点では桔梗が丘からオークワ・コスモスといった商業施設に行くのに利用している。

循環型にすることで、利用の範囲がさつき台以外の住宅地域にも増えたので、1ヶ月程期間を決めて乗車無料といったサービスなど地域外に向けての周知として検討している。

委員：コモコモライドの予約は電話のみか。

LINE を使って予約をしたらやりやすいのではないか。

今後、山添村とかでもできるのではと思っている。

委員：ライドシェアについて理想的、成功したら他の地域でももらえるのか。

→制度上、色々制約があり交通事業者との調整や地域の人口密度等の関係ですべての地域でできるわけではないが検討できる地域では検討していきたい。

先程、説明させていただいた人材育成事業といったところで色々な地域の方と話合う機会をもって、今後の交通再編に向けて進めていきます。

委員：バス協議会は市民センターの人がバスのことをしているのか。

→それぞれ地域にコミュニティバスの運行協議会有り、市民センターの方だけではなく地域の役員方などが地域の交通について考えています。

委員：その他の意見として、乗継ぎのスタンプラリーといったイベントをやってみたらどうか。

→ご意見として地域の方にも紹介させていただきます

5 閉会

会長のあいさつ

今日は、協議会にあたりまして委員の皆様にはそれぞれ知見を通して色々なご意見をいただきありがとうございました。

国津のあららぎ号運行の見直しにつきましては、三重交通さんと遅延があった時の対応等についてご意見ありましたので、引き続き密に連携を取っていただきますようお願いします。

また、座長から今回の見直しで内容が複雑でわかりづらいのではないかということで、地域の方々へ丁寧な説明をお願いしたいです。

利用者が少ないという現状がありますので、必ずしも定時定路線にこだわる必要もないかというところもありますので状況を見ながら今後の展開というのも早めに検討していただければと思います。

コミュニティ人材育成事業については、地域の公共交通を動かしていくには、運転手を含めて人材の確保が非常に重要であり、今回のこの事業は重要な役割があると思います。

座長からも人口減少をふまえてやはり交通も含めて他分野との連携が重要になってくると話がありました。

そういったなかで、セミナーやワークショップを通して地域、福祉、交通事業者、行政といった様々な分野の方が集まって意見交換をできたということは非常に意味があると思います。

セミナーの中で、樋口先生から名張市は行政に頼るだけではなく、地域と連携して交通を運営できる自治体と評価していただいたことは誇らしいことで強みだと思います。

今年度のコモコモ号の運営につきましても、地域の方のご協力や信頼関係があって実現できたことだと考えています。

今後の展開としても、他の委員からもご提案いただきましたので、その辺もふまえてどういったやり方がいいのか市としても一緒に考えさせていただきたいと思います。

来年度の当初予算について、人口減少を和らげる取組みや人口減少を見据えた取組みといったところが、一番大きなテーマとして市としても議論を進めています。

人口減少は、止めることができないのでどういった取組みをしていくのかが重要だと考えています。

地域交通の分野をみましても人口減少を見据えた取組というのは、非常に大きな取組みだと思っています。

今回のコモコモ号の実証運行も、まさにその取組みの一つとして、今後その結果をふまえて他の地域でも展開できるところはしていきたいと考えています。

ただ、地域によって事情や考え方も異なりますので今回のライドシェアが必ずしもマッチするということではないと思っています。

そういった意味では、地域にあったやり方というものを見つけていく必要があります。

丁寧に地域の方の話を聞きながらどういった方法がいいのか考えながらスピード感を上げながらやっていかなければならないと思っています。

今後もこの会議の中で、皆様のご意見をいただきながら市の方針、進め方というのを考えていきたいと思っています。

引き続きご助言、ご協力の方賜りますよう、よろしくお願いいたします。

本日は、長時間にわたりありがとうございました。